



👂 耳でも聞ける



議会だより

2025 No. 212

令和7年 1月22日発行
岩手県紫波町議会

いわ



主な内容

中学生議会開催 2 町民と議会の意見交換会 16

鋭い質問・提言!

開催されました

中学生議会
令和6年11月23日(土)
2年ぶり5回目
役場庁舎 3 F 議場



町内の3中学校から代表18人が質問席に登壇。町の未来や課題について、真剣な表情で質問や提言を行いました。

今回は、実際に町政を担う各部署の部長や課長が答弁を行い、普段と違う議場の緊張感を感じながら、中学生の鋭い質問に答えました。

町議会議員は事前学習を支援し、当日は中学生議会の運営を行いました。

政治参画のきっかけに

町の将来を担う中学生が、地方自治の仕組みや議会の役割を肌で感じ、理解を深めることを目的に開催しました。中学生議員の質問内容は素晴らしく、町政に対する関心の高さを感じました。町議会として、今後もこのような機会を設けていきたいと考えています。

紫波町議会議長

たけだ へいはち
武田 平八



更なる成長に期待

紫波町校長会会長

古館小学校 細川 佳紀 校長

皆さんの考えや思いが、これからの紫波町のまちづくりの活力となり、町政に生かされることがあるかもしれません。議会参加の経験が、皆さんにとって貴重な財産となり、更なる成長につながることを期待します。



緊張感の中で



18人の中学生議員

中学生議会が



質問を終えて

たくさんの課題が残っていることが分かりました。これからは課題一つ一つに真剣に取り組んで解決していきたいです。

質問を終えて



産業部長

町は役場庁舎で雨水貯蔵槽を設置しており、トイレ洗浄水や屋外散水、洗車用水に利用している。SDGsの観点からも、災害時の雨水の利用や節水は重要と認識している。

雨水を有効利用

問

修学旅行の墨田区研修で、雨水を公共施設のトイレや公園の噴水に、ろ過して災害時に使うなど様々なことに利用していることを学んだ。SDGsの観点からも効果が見込めるのでは。



あさひだ ふう
朝日田 鳳 議員

紫波第一中学校

産業部長

農作物被害対策として電気柵が有効であることから、設置を推進している。共生していくため、駆除により個体数を減らすだけでなく、廃棄農作物の適切な管理の啓発、電気柵設置を支援していく。



野生動物と共生

問

クマの出没が増えている。現在どのような取り組みを行っているか。共生していくための取り組みとして電気柵の設置を検討している。



みずさわ みさき
水澤 美咲 議員

紫波第一中学校

建設部長

町の国道4号は50年前に整備されているため、現在の基準の自転車歩行者道と比べて狭い所が多い。整備に莫大な費用が必要なため事業化が難しい現状。自転車利用の促進は、関連する計画などに基づいて取り組む。

自転車道の整備

問

自転車で登校時、国道沿いの細い道では危険を感じる。自転車用の道路を作れないか。自転車利用が増えれば地球温暖化対策にもなり「自転車のまち」をPRすることができるとではないか。



きしま こたろう
木嶋 虎太郎 議員

紫波第一中学校

産業部長

事業所の廃棄物は、自らの責任で処理・再生利用などで減量に努めるとされている。町は循環型エコプロジェクト推進事業で、二酸化炭素排出削減に取り組んだ企業や団体・個人に対し、エコ・ショップ「紫波Ecoブೀクープ」を交付している。

企業ゴミの資源化

問

事業所を出される印刷済みの紙の回収はどのように行われているか。地球温暖化などの環境問題という観点から、どのような対策を行っているか。



たかはし れい
高橋 玲衣 議員

紫波第一中学校

私たちの発言で町が変わるかもしれないと思うと、とても緊張と責任を感じ、町の政治は他人事ではないと思いました。



い未来に向けて!

練り上げてきた質問を
18人の中学生議員は

活発な話し合いを聞きながら
進める難しさを感じましたが、議会に
親しみを持つ機会になりました。



青山 ひなた 副議長

質問を終えて

本気で情熱的に訴え、声に意思を込めて発言し、今より良い社会を創造する場が議会であると私の中で変わりました。

議会の皆さんが真剣に議論した結果、町がまわっていると気付かされ、新しい視点をもたらしてくれました。

自分自身の意見が政治に反映されるかもしれません。今日得た情報や他の人の考え方を生かしていきたいです。

今、学習している公民と結び付けて考えられました。また、さまざまな人が協力して今の生活があると再認識できました。

他の中学生議員の発表の仕方や態度に学ぶことが多かった。今後の生活や授業に生かすことができたら良いと思います。

性化につなげていく。

めていく。



教育部長

地域住民同士の絆を深めるだけでなく、子育て支援にも寄与する素晴らしい提案。まちづくりの指針である紫波町民憲章の「あたたかく交わり」「自然を愛し、美しいまちをつくりましょう」を実現するよう、中学生のみならず、中学生のみなさんと共に考え、地域の活性化につなげていく。

産業部長

小学校などで開催することは、家庭におけるごみ分別の意識向上につながるものと考えている。ごみの分別の重要性を学び、実践することで、環境を大切にする心が育まれる。各小学校、教育委員会と連携・検討し、進めていく。

産業部長

町では新しい観光振興計画の準備を進めている。あまり知られていない魅力的な観光スポットがあり、それらを発信し、ツアーを開催するなど、取り組みを進めたい。

企画総務部長

特色ある事業を展開するには第一次産業の資源の活用が欠かせない。人口減少や公共施設の老朽化の課題を民間の知恵と資金を活用した公民連携により、町の課題解決を進めていく。

産業部長

町では、毎年夏まわりの運営にかかる費用の一部を負担している。地域のまつりは、町や近隣、県外の人などが、にぎやかに集う場。これからも、多くの屋台業者に参加していただけるよう、作り上げていきたい。

問

紫波町の自然を利用した親子参加型の自然体験イベントを提案する。地域の人たちの関わりが増え、楽しんで交流する機会が増えると思う。

問

町ではごみの分別が町民に十分に徹底されていないと思う。環境課環境係で「ごみ減量、分別説明会」を行っているが、町内の小学校で行うのはどうか。

問

若者に興味を持ってもらい、実際に足を運んでもらえるようなSNS発信の工夫が必要ではないかと思う。名所巡りツアー、ツアー参加ポイント、ポイントで特産品と交換などの企画が必要と考える。

問

町は公民連携の取り組みが全国において先進的な自治体だが、第一次産業との連携はあまり取れていないように思う。どのような取り組みを行い、今後どのように発展させていくのか。

問

地域の祭りを盛り上げるために、町で支援する仕組みを作っているのか。祭りを盛り上げる屋台を存続させるために、町から補助金を出すなど検討できないか。

地域交流イベント

ごみの削減と分別

観光客で活性化

公民連携

祭りに補助金支給



こばやし ひろと
小林 祐翔 議員



もり のりと
森田 徳人 議員



さとう ゆな
佐藤 優愛 議員



おかざき めい
岡崎 芽生 議員



さとう はな
佐藤 花愛 議員



私たちの町の明る



藤原 遥生 議長

貴重な経験になりました。身近な問題を考えるきっかけになったので、町議会にも関心を持っていきたいです。

時間をかけて一生懸命議場で堂々と発言するみんな輝いていました！

質問を終えて

直接政治のことについて触れることがなかったが、今日の体験で町の政治、まちづくりに関心がわきました。

まちづくりには町民の意見を聞き、実現できるようにすることと若い世代に政治などに興味や関心を持たせることが大切だと思います。

直接的に町の政治に関わることはできない僕たち中学生でも、さまざまな方法でより町をできることを知りました。

今まで知らなかった町の取り組みや課題を知ることができました。町の広報紙などで、もっと知りたいと思いました。

他の中学生の意見を聞き、地域を意識してみると自分たちにできることがたくさんあることに気づきました。

情報提供をお願いしたい。

教育部長

教育委員会では、通学路の安全を確保するため「紫波町通学路安全推進会議」を開催している。必要な場所に設置するためには地域の意見が大切になる。通学中に気付いた場合には、学校や教育委員会に情報提供をお願いしたい。

企画総務部長

が、古さの持ち味を生かし、時代に合った活用や新しい人々が集う拠点になると考える。事業を実施するためのより良い環境を作り出すなど、できる支援を継続していく。

企画総務部長

は大事な視点であり、岩手県交通に伝えたい。細かな移動にはしわまる号やタクシーの利用で、路線バスや電車に乗り換え、町外の目的地に行くことができる。さまざまな交通手段を組み合わせてほしい。

企画総務部長

は、収入と支出のバランスを考える必要がある。公共交通を普及からたくさん利用することで、持続可能な公共交通になっていくと考える。

教育部長

上競技の2種目で入賞した。これを契機に町民の興味関心は高まり、ホームページや広報を活用して情報発信に努めている。今後も、より多くの町民がスポーツに触れる機会を提供していきたいと考えている。

危険箇所にもミラー



かまた あゆのすけ 鎌田 鮎之介 議員

問

登下校中、曲がり角にミラーが無い場所とがあり、大変怖い経験をした。ミラーの設置場所の点検や見直しは行われているか。危険箇所にもミラーを増やしてほしい。

問

「古民家カフェ」や「オフィス」に町がリフォームして安い費用で貸し出し、より活用しやすいしてはどうか。町の魅力となり、訪れる人を増やす効果もあると思う。

空家の活用



くまがい こうたろう 熊谷 康太郎 議員

問

高齢者の路線バス離れが進む原因の一つとして、目的地とバス停との距離が遠く離れているからではないか。高齢者が頻繁に利用する施設の近隣にバス停を整備するなど、バス停の位置の見直しを提案する。

バス停の見直し



さとう あらた 佐藤 新太 議員

問

デマンド型乗合バス「しわまる号」の利用者の増加によって待ち時間が長くなったり、運転士が不足したりするなどの課題もある。台数を増やせば、待ち時間が減り、混雑の解消になるのでは。また、運転士の給料を上げると、若手の運転士育成のきっかけになるのではないかと考える。

公共交通の見直し



さとう ゆめ 佐藤 結萌 議員

問

ライフスタイルの多様化が進み、紫波町では運動不足が課題と感じている。そこで、プロ選手に来ていただくパラリンピック競技の体験会を開催するのはどうか。

スポーツに親しむ



はしもと やよい 橋本 弥生 議員



紫波第三中学校

いがらし あんな
五十嵐 杏奈 議員

世代間交流

問

高齢者が住みやすく、楽しく生き生きと暮らすことができる町にするために、小中学生が作ったお菓子などを高齢者施設で開いたイベントで提供するというのはどうか。

生活部長

ご提案のイベントは、地域のひととの交流を心待ちにしている施設の高齢者の皆さん、素晴らしいアイデア。介護事業者や施設と相談し、ぜひ実現していただきたい。

紫波第三中学校

なかさと ふみや
中里 文哉 議員

食文化のPR

問

地産地消、食文化の取り組みを推進するため、インスタグラムの情報を人が多く集まる場所POPを使い、紹介できないか。また、SNSを利用し消費者に買い物をしてもらうための産直のPRをしてはどうか。

産業部長

公共施設や町のイベント及び町産食材を購入できる事業所等において、POPによる周知方法も含めたPR活動によりSNS閲覧数及びフォロワー数の拡大に努めていく。

紫波第三中学校

あおやま
青山 ひなた 議員

高齢者の社会参加

問

予約不要な移動車を運営できないか。西部や東部に移動手段を増やしてほしい。今日行くところがある、今日用事がある、「今日行く・今日用」（教育教養）が生まれ、より楽しく生き生きと生活することができると思う。

生活部長

警察署と連携し、運転免許を返納した高齢者に個別に連絡し「今日行くところがあり、今日やるべき用事がある」という高齢者が、地域の中で生き生きと活躍する姿は、町が目指す「暮らし心地のよいまち」を正に表す姿であると感じる。

紫波第一中学校

ふじわら はるき
藤原 遙生 議員

農業による創生

問

町を盛り上げていくためには、産業を振興することが不可欠。町の基幹産業である農業も盛んにし、次世代へ継承していくために、どう取り組んでいくのか。

産業部長

農業インターン制度の創設や、耕作者を募集する農地と事業者とのマッチングなど、農業生産を維持するための施策について関係機関と連携し検討を進めていく。



質問を終えて

議会は自分の世界と遠いものだと思っていたけど、地域と密接に結び付いていて、身近なものだと感じました。

自分の地域に住んでいるだけでは考えないような意見があり、小さな問題も学んだことが結び付て考えることができました。

町のために自分ができることは限られていると思っていたが、解決策を考えたり、自分事として捉えることができた。

議会を身近に感じるようになりました。議会での話し合いが私たちの暮らしに直結していることを実感しました。

傍聴席から

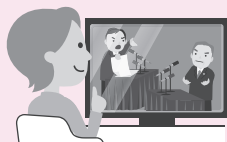
- 中学生は身近な問題を、町の問題として捉え、町全体を良くしていこうという気持ちが感じられました。町も中学生の質問を受けて良くなるきっかけにしてほしいです。
- 議会を傍聴したことがなかったので、本物の議会を見たいと思いました。



- 議会がインターネット中継されていることを知らなかったの、見てみたいです。

インターネット中継

議会活性化の一環として、議会のインターネット中継をしています。パソコンやスマホを利用して議会の当日、ライブ中継を見ることが出来ます。議員の一般質問は、録画でも見ることが出来ます。



事前学習の様子

令和6年9月26日(木)、27日(金)に町議会議員全員が3中学校3年生の各教室に出向き、事前学習交流を行いました。

○ 紫波第一中学校



議会の仕組みの出前講座、議員も加わってのディスカッション、班単位の初期プレゼンテーション発表などと一緒に交流を行いました。

○ 紫波第二中学校



議会は役割を説明し、内川校長先生が授業の目的を解説。テーマに沿って班で意見を出し合い、まとめ上げ、堂々と発表していました。

○ 紫波第三中学校



初めに議会の仕組みを議員が説明し、角谷校長先生の指導の下、議員も助言に加わり、生徒は町の未来に向けたアイディアを話し合い発表しました。

会場設営・案内誘導・議会リハーサル・フォトグラファーなどに役割分担をし、中学生議会の運営を行いました。

当日の町議会議員は？



- ① 質問のやり方を説明
- ② 議事進行のレクチャー
- ③ 真剣な姿を真剣に撮影
- ④ 感染対策もバッチリ!!
- ⑤ 設営、片付けも議員で
- ⑥ にっこり😊 受付係



定例会
12月会議補正
予算

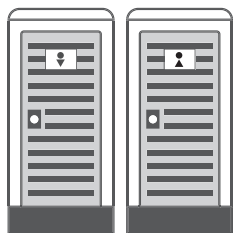
なににさ使うの？

ピックアップ

令和6年度
紫波町一般会計補正予算(第8号) 議案第60号

既定の歳入歳出予算に3億2834万円を増額し、総額168億4314万円とするものです。

古館駅・日詰駅



仮設トイレ購入費 81万円

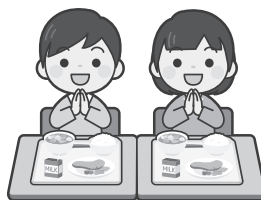
令和6年3月16日から古館駅・日詰駅の無人化により閉鎖されたトイレについて、仮設トイレを男女1基づつ、令和6年12月中に設置する予算です。

また、令和7年度秋頃までに既存トイレが再開される予定(11月27日議会全員協議会で説明)

給食費負担軽減!

給食費材料代 356万円

令和6年度の米価格の高騰分を保護者の負担とせず、町が負担するものです。



ぶどう農家被害救済



農産物被害支援金 700万円

8月下旬の大雨によるブドウの実割れ被害に対し、作付け10アールあたり9000円の給付と薬剤購入費を補助する予算。

発議

どうなる?! 紫波地域診療センター
廃止せず機能の充実を!!【県立紫波地域診療センターを廃止
にせず機能の充実を求める意見書】

町内には入院できる病院が無く、入院できる施設の確保が切実なため、診療センターを廃止せず機能充実を求める意見書が議員から提出され、可決しました。



信頼ある公人へ

議員の政治倫理

【紫波町議会議員政治倫理条例の一部を
改正する条例】

政治倫理基準のうち、「嫌がらせ、強制、ハラスメントなどの人権侵害のおそれのある行為をしないこと」を明らかにした一部改正条例案が提出され、可決しました。

教職員の勤務環境の改善を求める!!

【「公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法」の廃止及び実効性
ある学校の働き方改革を求める意見書】

学校現場での教職員の勤務環境の改善を進め、教職員が一人一人子どもに十分向き合える環境を整備するため、国として具体的業務削減策を求める意見書が議員から提出され、可決しました。

審査
議案

賛否分かれる

新規
計画

紫波町地域再犯防止推進計画 議案第62号

再犯防止を推進することにより、安全で安心して
暮らせるまちを実現するための計画

問 再犯防止も大切だが、犯罪被害者対策については、どのように考えているのか。

答 県・近隣市町村をみて近々に制度・条例化を進めたい。まずは、犯罪を防ぐことが大事と考えている。

問 民生委員の方々の負担が大きくなる。理解は得られているのか。

答 条例制定後、民生委員の方々にはご協力をお願いをする予定。



出典：政府広報オンライン
<https://www.gov-online.go.jp/>

反対討論

村上みさと 議員

パブリックコメント0件という中での本計画について、住民の理解が足りていないのではないかと。

併せて、平成28年の「再犯の防止の推進に関する法律」を政策背景とし、「犯罪被害者等基本法」はその12年も前に成立しており、先に被害者支援施策を出すべきと考える。再犯防止、被害者支援、両輪で実施する方が、結果的に再犯防止につながるのではないかと。

採 決

吉田 和希	○
村上みさと	×
鈴木 博	×
佐藤 光夫	○
橋浦 栄一	×
高橋 敬子	○
浅沼 有朋	○
北條 聡	○
阿部 秀一	○
佐々木純子	○
阿部美佳子	○
熊谷 育子	○
細川 久	○
及川ひとみ	×
細川 恵一	×
藤原 恵子	○
根水 康博	○

結果：賛成多数で**可決**
※議長は賛否が同数の場合にのみ採決に参加

条例
改正

紫波町スポーツ施設条例の一部を改正 議案第60号

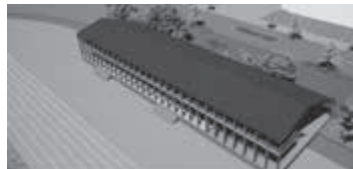
紫波町スポーツ施設に紫波町スポーツ交流施設を加え、
施設使用料など必要な事項を定めるもの。

問 施設管理・運営、受付・使用者対応は、どこが担うのか。

答 施設管理・運営は町が行う、受付・使用者対応は、(株)いわてアスリートクラブに委託し1人をおく。

問 併設されるグルージャ占有倉庫の使用料は、明記されてないが、どうなっているのか。

答 倉庫建物の評価額を積算して、使用料を徴収する予定である。



令和7年3月完成イメージ

採 決

吉田 和希	○
村上みさと	×
鈴木 博	○
佐藤 光夫	○
橋浦 栄一	×
高橋 敬子	○
浅沼 有朋	○
北條 聡	○
阿部 秀一	○
佐々木純子	○
阿部美佳子	○
熊谷 育子	○
細川 久	○
及川ひとみ	×
細川 恵一	×
藤原 恵子	○
根水 康博	○

結果：賛成多数で**可決**
※議長は賛否が同数の場合にのみ採決に参加

反対討論

及川ひとみ 議員

一般も使える共有部分はあるが、グルージャの専用ゾーンがあるクラブハウスである。プロ仕様のトレーニング機器は、一般の人がどれくらい使えるものなのか、安全面も気にかかる。条例に町民の健康と福祉向上に寄与するとあるが当てはまるのか、公共施設とするのも疑問がある。

関連

紫波町スポーツ交流施設のネーミングライツ（愛称付与）募集が行われ、年間300万円で施設名「ワイズマンスポーツベース紫波」に決定したことが12月9日開催の議会全員協議会で説明がありました。

8議員が

一般質問



細川 久

- 地域公共交通
- 給食食材



細川 恵一

- ラ・フランス温泉館の整備
- 農政問題



村上 みさと

- 合意形成
- 町道の整備／農獣被害対策／古館駅、日話駅のトイレや待合室の環境／公共交通／観光／東西格差／クラブハウス／生活困窮



高橋 敬子

- 観光振興
- 観光の情報提供／安心して楽しめる観光の提供／特産品の取り組み

町民一人一人の未来と暮らしのために！

観光振興

新たな観光と魅力向上への取り組みは

観光振興計画に基づいて実施

第三次紫波町観光振興計画には、新たな観光の推進に取り組むとある。どのように取り組んでいるか。

町長

酒関連産業の振興となる事業を実施している。旧水分小学校を活用する「はじまりの学校」もその一つであり、完成後は新たな観光拠点となりうる。

9月28日は「東根山の日」であり、その前後にAZUMANE WEEK（アヅマネウィーク）として「紫波あづまねトレイル」や「あづまねまつり」を中心にイベントを開催している。また、観光パンフレットのリニューアルや民間事業者が自主的に行うインバウンド向け実証実験を支援した。

金がないなら智慧を出せ、町の潜在能力は無限



たかはし けいこ 議員
高橋 敬子



議員の一般質問・答弁の動画はQRコードから

合意形成

町民のニーズと町の施策は合っているか

町の動きを伝える取り組みをしている

まちづくり座談会・議会報告会などで、町政への不満が出る。町の施策が町民ニーズに合っていないのではないかと、相互理解や合意形成が不足しているのではないかと。

町長

まちづくり座談会では配布資料を充実し、発言を図式化して公開するなど町の動きを伝え、意見をいただいた。「町長への手紙」は、延べ1400通にのぼり、すぐできるものはすぐ対処するよう指示してきた。平成20年に市民参加条例が施

町民の思いと町の施策が合っていない



むらかみ 議員
村上 みさと



議員の一般質問・答弁の動画はQRコードから



まちづくり座談会の様子



音声版はページ下のQRコードから



藤原恵子

- 軟骨伝導イヤホン
- 畜産振興
- 不登校の児童の支援と相談体制



及川ひとみ

- 民間提案制度
- 新規保険証発行終了
- 国民健康保険税の子ども均等割り軽減年齢の引き上げ



熊谷育子

- 視覚障害者
- 空き家対策



北條聡

- 予防接種事業
- 紫波地域診療センター

一般質問とは：議員の視点から町の行政全般に対し質問し、政策的な議論をする場です。

12月定例会の傍聴者は延べ18人でした。お越しいただきありがとうございました。

安心して楽しめる観光の提供
特産品の取り組み

このほかの質問

町のほかの質問
安心して楽しめる観光の提供
特産品の取り組み

町長 町や関係団体のホームページで情報を発信している。また、観光交流協会でSNSの活用を始めたほか、紫波郵便局と連携したSNSでの発信も行っている。

問 情報発信やニーズの把握はどのようになっているか。

観光の情報提供



SNS



いいね！

行され、市民の参画を推進している。

町道の整備

問 草刈り機の刃や混合ガソリン、地区に対する補助を検討できないか。

町長 「まちピカ応援プログラム」や「多面的機能支払い交付金」事業を活用している地域もある。利用できる制度を活用してほしい。

鳥獣被害対策

問 さまざまな対策を講じているが、農業者の困りごとは解消されていない。実態の把握、ニーズに合った対策が取られているのか。

町長 農作物被害額は、令和5年度2500万円と拡大している。被害の確認と分析により町民ニーズの把握に努め、必要な対策を講じる。

古館駅、日詰駅のトイレや待合室の環境

問 十分な説明と理解を得る必要があるのではないか。

町長 令和7年度の第2四半期ごろトイレ再開の見通し。それまでの期間は町が仮設トイレを設置し、維持管理をする方針であり、町民の皆さんにお知らせしていく。

このほかの質問

公共交通／観光／東西格差／クラブハウス／生活困窮



町民負担に
ならないように



ほそかわ けいいち
細川 恵一 議員



議員の一般質問
・答弁の動画は
QR コードから

ラ・フランス温泉館の整備

中長期を見据えての構想は

答 民間活力を含めて検討する

問 あづまねエリアとラ・フランス温泉館を含む一帯をリニューアルすることが町の構想として打ち出されている。

2028年までの完了を目指すとしていますが、整備の手法と財源はどのように検討しているのか伺う。

町長 整備手法と財源の選定は、リニューアル後の運営体制の在り方まで含めて慎重に模索する必要がある。サウンディング調査などによる民間企業との対話を通じて検討する。財源は内閣府の交付金・観光庁の補助金・民間資金を活用したPFI事業などを整備手法と合わせて検討していく。

問 リニューアルされることにより、町への交流人口・温泉の経営改善などどのように

タクシーが減って大変
対策を講じて欲しい!



ほそかわ ひさし
細川 久 議員



議員の一般質問
・答弁の動画は
QR コードから

地域公共交通

最適な移動手段の確保は

答 各事業者と情報を交換する

問 地域公共交通は、地域住民の暮らしを支え、産業や観光などの地域振興につながる公共サービスである。

全住民アンケート結果に、移動手段の対策を講じてほしいとの声が多くある。最適な移動手段の確保のために、タクシー会社や路線バスなどの事業者間をつなぎ、効率よく配車をするコーディネートシステムは考えられないか。

町長 タクシー・路線バス・鉄道の各事業者のほか、関係機関を構成員とする「紫波町地域公共交通会議」を設置し、定期的に情報交換し



実証実験は1月31日まで

インフル流行、集団感染、
学校閉鎖か!?



ほうじょう さとし
北条 聡 議員



議員の一般質問
・答弁の動画は
QR コードから

予防接種事業

高校生まで一部助成できないか

答 現行のままで周知したい

問 新型コロナウイルスが5類となり、有料でワクチン接種が行われている。他の自治体では問診票を添えてワクチン接種の案内通知を送付しているが、町ではどのように周知しているのか。

町長 令和6年10月から高齢者の定期予防接種として、重症化予防のために自分の意思で接種する場合の助成事業を開始している。広報やホームページ、LINE配信や地区保健活動で周知している。



農政問題

このほかの質問



あづまねエリアのリニューアルイメージ

捉えているのか。

町長 リニューアルの目的は、新しい価値を生み出し、あづまねエリアの魅力向上により町の交流人口増加に寄与すること。経営改善として、温泉館などの老朽化は、さまざまな制度を活用し財源を確保しながら事業の実現を目指す。現行の指定管理制度で経営を継続した場合、新たな投資は難しい状況から、民間活力を生かし魅力が最大限に生かされる運営方式を検討し、経営改善につなげていく。

ている。

デマンドバスの電話番号を記したカードを増刷し、公共交通の分かりやすい資料を用意したい。

給食食材

新規就農者等へ出荷協力は

答 生産者確保に努める

問 農業人口が減少し、従事者の高齢化が進んでいる。新規就農者への経営支援は。

町長 関係機関の協力のもと、経営課題や生産技術を相談できる体制を整え、伴走支援に取り組んでいる。

問 令和5年度決算では、地場産品給食食料料費が減っている。新規就農者などに出荷協力を求めることで、収入の確保や生産を増やせないか。

町長 学校給食への地元食材の調達は、紫波町農林公社が事務局となり紫波町学校給食組合を組織し、学校給食センターとの協議や地元食材の供給調整、生産者の組合加入を随時募集している。新規就農者の所得安定や給食食材の安定供給に向けて、新規就農者を含め、生産者確保に努めていく。

問 インフルエンザの薬不足などが起こっている。予防接種事業の一部助成を高校生まで拡大できないか。

町長 インフルエンザ予防接種の対象は、現行のままで行いたい。本格流行期を前に、多くの人に接種してもらるように周知したい。

紫波地域診療センター

地域福祉の増進を目指して

答 協議しあり方を考える

問 県立紫波地域診療センターについて、介護老人福祉施設「にいやま荘」との協力医療機関としての役割や繋がりをどう考えているのか。廃止後の施設建物の活用方針は県から示されているか。

町長 紫波地域診療センターの廃止が示されたことを受け、計画の見直しを県医療局に要請してきた。にいやま荘の嘱託医体制に影響があることは否めないが、紫波郡医師会と連携し支援を検討する。

県医療局では施設利用の予定は無く、関係者の意見を聞き協議の場を作るよう努める。

議会報告会で伺った
声をとりあげました



くまがい いくこ
熊谷 育子 議員



議員の一般質問
・答弁の動画は
QR コードから

視覚障害者

安全な道路整備を

答 設置はガイドラインを基準にしたい

問

議会報告会で日詰商店街の道路に点字ブ
ロックが必要との意見があった。視覚障害
者の方は、白杖や靴から感じる段差で歩道と車
道を区別している。日詰商店街は街灯などがあ
り、直線では無いため空間が把握しにくい。安
全確保のため、早期に整備できないか。

町長 日詰商店街は平成19年に県道として整備さ
れ、視覚障害の方も含め

冬期間に歩きやすい融雪装置
を整備したことから点字ブロッ
クは設置されなかった。歩行
者専用帯は直線的に通行でき
るようになっていて、大きな
改築の計画はない。現在の状
況で通行のお願いをしたい。



町民の意見も聴いて
欲しいの



おいかわ
及川 ひとみ 議員



議員の一般質問
・答弁の動画は
QR コードから

民間提案制度

提案や選定の仕組み作りを

答 執行権の範囲内で行い、つど報告

問

この制度は、町が提案を募集し、その後に
審査会で選定される。実施しようとする事
業のテーマや選定自体を住民参加で意見を聴き、
議会でも審議する仕組みが必要ではないか。

町長 民間から公募する事業のテーマは、事業を
特定せず、総合計画と総合戦略、公共施設

等総合管理計画で定めた施策の実現に有効なも
のを受け付けている。また、制度の運用は、い
わゆる執行権の範囲内で行っており、事業の採
択は議会の全員協議会で、企業などの協定は行
政報告で報告し、ホームページで公開している。
※紫波町民間提案制度とは

民間事業者が持つ知見や技術により住民サー
ビス、住民福祉の向上につながる提案を公募す
る制度。町が提案内容を審査し、採択されたも

安心して使えるイヤホン
があればいいですね



ふじわら けいこ
藤原 恵子 議員



議員の一般質問
・答弁の動画は
QR コードから

軟骨伝導イヤホン

窓口サービスの充実を

答 便利で快適な窓口を目指す

問

役場窓口などで、耳が聞こえにくい高齢者
と町職員とのやり取りを円滑に進めるた
め、耳の軟骨を振動させて音を伝え小声でも
はっきり聞こえる軟骨伝導イヤホンを導入でき
ないか。

町長 耳が聞こえにくい高齢者が窓口に来た際に
耳もとでゆっくり話すことや、筆談などで
対応している。長寿介護課窓口には集音器が置
いてある。

軟骨伝導
イヤホンは、
試験導入の
予定であり
効果を検証
したい。



軟骨伝導イヤホンを
ぜひご利用ください

空き家対策

先進事例を参考に進めては

【答】対策を推進していく

空家家の件数は増加していき、より一層の対策が望まれる。今後の進め方はどのように考えているか。

町長 町では令和4年12月に「第2期紫波町空家等対策計画」を策定し進めている。所有者の意識を高めるため、自治公民館などで出前講座を実施している。

問 空家家の家屋倒壊や草木繁茂などへの対策や空家家改修に補助金を出す考えは無いのか。

町長 管理が不十分な空家の所有者や管理者に対し指導や情報提供している。重大な危険性を持つ場合は最低限必要な措置を町が行うことを想定している。

空家家を地域コミュニティ活用や移住者が取得するための経費に補助金を交付している。引き続き対策と情報提供を推進していく。



のは事業者と契約し事業化を目指す。

新規保険証発行終了

町民が困らないような対応を

【答】マイナカードの普及と情報提供に努める

問 従来の健康保険証が廃止になることから、よくわからず不安になっている人もいる。医療機関でマイナ保険証の不具合などがあり利用率は低い。この状況でも町は利用を進めているが、どのように考えているか。

町長 健康保険証が新規に発行できなくなることから、現在の健康保険証が一定期間は利用できることや、マイナ保険証に関する広報を行っている。

また、マイナ保険証を解除することもでき、12月の広報紙に関連情報を掲載する予定である。



相談はお気軽に

【このほかの質問】

国民健康保険税の子ども均等割り軽減年齢の引き上げ

畜産振興

市場関係者との話し合いは

【答】市場価格の回復が重要

問 岩手中央家畜市場内の子牛の繋ぎ場が半分ほど空いている状態である。子牛の出荷頭数が減少しているが、以前から続いているこの現状をJAや全農との話し合いはあったのか。

町長 子牛の上場頭数は、令和2年度と比較し、5年度は99%と緩やかに減少している。一方、町内の繁殖農家は82%と急速に減少しており、小規模な繁殖農家の撤退が続いている。

JAや全農など市場関係団体の話し合いで、繁殖農家の経営継続には、子牛価格の回復が重要と捉えている。特色ある牛作りや他県との市場開催日の調整、大口購買者の誘致活動などの対策が進められている。



【このほかの質問】

不登校の児童の支援と相談体制



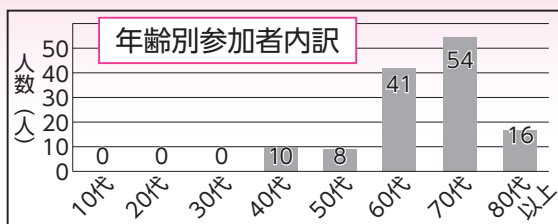
町民と議会の意見交換会 を開催しました。

10/28～11/5の期間 全15会場 参加者140人

議会報告

各委員会からの
取組・活動報告

- 町の令和5年度決算状況
【予算決算常任委員会より】
- 地球温暖化・鳥獣被害対策・
企業誘致について
【いきいき町づくり常任委員会より】
- 新設学校給食センター・
子育て環境について
【すこやか町づくり常任委員会より】



参加者アンケート結果(回答129名)

- 議会報告の内容について…「分かりやすかった」 61%
「わかりにくかった」 3%
- 本日の運営について……「よかった」 81%
「不満だ」 1%

アンケート結果の詳細は、議会ホームページでご覧いただけます。

議会に関する質問への回答を一部掲載します。

問 すこやか町づくり常任委員会が赤石小学校を視察して問題点として取り上げた点は？

答 施設面では、既存トイレの改修や手狭な職員室の拡充。改修・増築に当たっては既存施設との融合を図るよう報告しました。

問 いきいき町づくり常任委員会の資料にある鳥獣被害対策の提言とは？

答 提言として、補助金が良いのか、隊員に関わるのが良いのかなどを委員会として検討しています。

問 議会報告会に地元の議員が来ないのはなぜ？

答 地元議員が入ると、会話が地域的なものになり過ぎ、他の議員が参加しにくくなります。報告会は町全体に対し包括的に意見交換する場として設定しています。

問 議会だよりで「〇〇を示せ」などの言い方がきついのでは？

答 以前はそのような表記がありました。広報広聴常任委員会で表現方法の検討も続け、読みやすい議会だよりになるよう改善を続けています。

「議会運営に対する意見・要望」にお答えします。抜粋

問 県立紫波診療センターの存続を働きかけてほしい。どうしたら利便性良く活用できるか考えて！

答 議会として岩手県知事、岩手県医療局長に廃止せず機能の充実を求める意見書を提出しました。引き続き全議員でご意見を共有していきます。

問 請願に関して、予算がないのはわかるが、町道整備に向けて働きかけを続けてほしい！

答 請願採択後の工事未実施道路について、すこやか町づくり常任委員会で現地確認しており、今後も担当課と整備に向けて協議を進めていきます。

問 地域おこし協力隊が何をしているのか議員も興味を持ってほしい！

答 所管するいきいき町づくり常任委員会で課題とするともに、全議員でご意見を共有していきます。

問 議会報告会の参加者や開催場所が少ないのではないかと。議会でも人を集める工夫をしてほしい！

答 多くの方々に参加いただける報告会になるよう検討していきます。

議会ホームページに議会報告会の詳細を掲載します。ぜひ、ご覧ください。

紫波町議会

検索



議会だより



No.212 令和7年1月22日発行

私の話を聞いて

【議会報告会】意見交換で221件の声をいただきました。質問：80件・意見要望：141件



みなさんの関心度ベスト3



関心度 1位



地域交通の整備と充実 …… 16件
しわまる号の充実・タクシー不足・ライドシェア検討など

関心度 2位

有害鳥獣対策の強化 …… 15件
対策強化の急務・危険予防策・ジビエの検討など



関心度 同率3位

- **学校整備・給食無償化など …… 13件**
赤石小整備・新給食センター・給食地産地消・紫波高充実など
- **議会運営・議員活動 …… 13件**
議会報告会の運営・広報広聴の充実・町政への監視・提言など



【その他に多かった質問・意見】

- 町財政・農業関連…各11件
- 運動公園・駅トイレ・町道…各10件
- 企業誘致…9件
- 観光・人口減少…各7件
- 空家対策…6件など



会場	・桜町北通公民館 ・蔭沼公民館 ・京田公民館 ・大巻公民館	・高木公民館 ・十日市公民館 ・佐比内8区公民館 ・中陣公民館	・横沢公民館 ・桜田公民館 ・情報交流館 ・上町公民館	・常川公民館 ・日詰6区公民館 ・あさひコミュニティ会館
出席議員	細川 恵一 吉田 和希 橋浦 栄一 高橋 敬子	藤原 恵子 村上 みさと 北條 聡 阿部 美佳子	及川 ひとみ 鈴木 博 浅沼 有朋 熊谷 育子	細川 久 佐藤 光夫 阿部 秀一 佐々木 純子

武田議長、根水副議長は参加可能な各会場を回りました。

質問・意見への対応

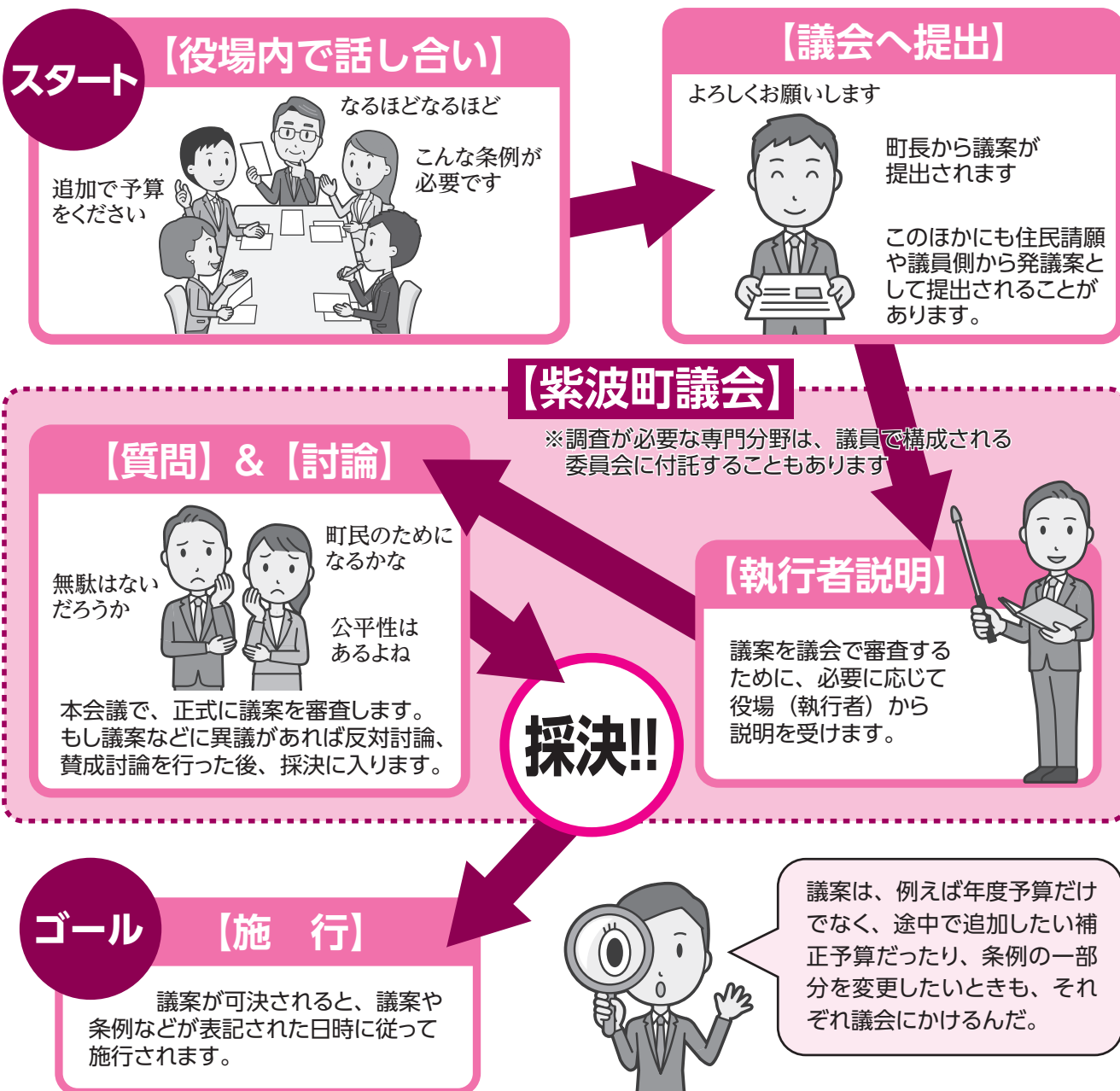
- 皆様の意見や提言などを取りまとめ、町の発展と議会の活性化を図って参ります。
- 回答を保留にした質問は、会場となった公民館長を通じて後日回答します。



シリーズ「議会の見える化」vol.3

議会ってなあに？

議案審査って何するの？



議会の活動を紹介します

9月	10月	11月	12月
議会運営委員会 2回	議会運営委員会 1回	議会運営委員会 2回	議会運営委員会 2回
議会全員協議会 1回	議会全員協議会 1回	議会全員協議会 2回	議会全員協議会 2回
議会本会議 4回	町づくり常任委員会 5回	予算決算常任委員会 1回	予算決算常任委員会 1回
予算決算常任委員会 2回	広報広聴常任委員会 2回	広聴広報常任委員会 1回	町づくり常任委員会 4回
IT推進検討委員会 1回	議員研修会 1回	議員研修会 2回	広聴広報常任委員会 3回
町づくり常任委員会 6回			
広報広聴常任委員会 5回			

式典等の公的行事、他機関会議への出席を除く。



議会だより



No.212 令和7年1月22日発行



議員が依頼に伺った際は
ご協力をお願いします。

聞かせて まちの声

町内の方々に寄稿していただきました

知ってほしい!!
音楽の楽しさ



すずき ひのか
鈴木 陽乃夏さん
(日詰小学校 4年)



私は日詰小学校の吹奏楽「シャ
イニイ・メイソ」でアルトサク
スをやっています。3年生の時に
「音楽をやってみたい」と思い入
りました。
最初は吹けなくて、楽譜も読め
ず、ちよつと不安だったけど先生
や先輩に教えてもらって少しずつ
吹けるようになりました。
4年生になったらたくさん曲
が吹けるようになって今では楽し
いです。目標は、音楽をずっと続
けることと、みんなに音楽の楽し
さを知ってもらうことです！

佐比内「愛」



たもやま とおる
田面山 道さん
(佐比内地区)



私の母校、旧佐比内小学校

ここ佐比内に住んで50数年。
小学校が閉鎖され、高齢化が進
み川東の中でも手付かずの過疎地
域ですが住んでる自分達で佐比内
を盛り上げて行こうと奮闘中です。
佐比内のビジョンを皆で模索し
つつ自然・歴史・文化・農産物・
イベントなどを更に盛り上げて行
く為にも地域の課題を知り、その
課題に向けての新たな人材やイベ
ント、コミュニティなどなど皆で
共有して地元の人はもちろん、地
元以外の人達にも
大好きになっ
て貰える佐比
内を夢見て
います。

紫波町は自動車の
利用者に優しくない？



すがわら だいすけ
菅原 大介さん
(水分地区)



いつも混んでます

紫波マルシェのオープン当初か
ら花を出荷しています。
ただ、当初から感じるのはオガ
ールの無料駐車場が非常に少ない
点です。1時間半無料の有料駐車
場があります。未だに利用に抵
抗があります。イベントや町の健
康診断の日には役場前を含めて駐
車が困難です。
サンビレッジも何故か敷地の割
に駐車場は少ないです。
日詰商店街に
目をやれば、意図
があつて設置さ
れた街灯もただ
の障害物に見え
てしまうのは私
だけでしょつか。
長期的に有用
な計画を立てて
ほしいと考えま
す。



年頭のご挨拶



紫波町議会
議長 武田 平八

謹んで新年のお慶びを申し上げます。
皆様には、輝かしい年の幕開けをお健やかに迎えの
事とお慶び申し上げます。

平素、皆さんには議会に對しまして、特段のご理解と
ご協力を頂いております。衷心より感謝とお礼を申し
上げます。

さて、地方においては、少子高齢化や人口減少が常態
化し、社会や経済にも様々な形で影響が生じており、取
り巻く環境が厳しさを増しつつあります。

取り分け、人口減少に直結する少子化対策や地域を支
える産業の振興は重要であり、具体的な施策を展開して
行かなければなりません。改選後、議会に「人口減少対
策特別委員会」を設置しましたが、先々を見据え、後顧
に憂いを残す事の無いように、町が早々に取り組むべき
課題について、積極的に議論して行きたいと考えていま
す。

また、「議会との意見交換会」の場等で頂いた提言や意
見も含め、住民本位の政策提言を積極的に言い、議会活
動の一つ一つを積み重ねながら、町の未来に向けて新た
な変化が感じられる一年にしたいと考えています。

今年の干支は「巳」であります。決意を新たに、着実
な「脱皮」を心掛け、紫波町の更なる発展の為に精進し
て参りますので、引き続き、ご指導とご鞭撻のほど宜し
くお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとりまして、最良の年になりま
すようご祈念申し上げ年頭のご挨拶と致します。

表紙の写真

明るい未来を共に



紫波町の未来は明るいな～

中学生議会の様子を取り上げ
ました。
緊張感の中、質問だけでな
く、答弁者に体を向けて聞く姿
勢がとても印象的でした。
終わってホッとした表情の
紫波三中の校長先生と生徒を
パチリ📷
角谷校長先生は、「答弁者の
話をよく聞いて全員が再質問を
することができた。小中一貫教
育、総合的学習の効果とキャリ
アビジョンの継続で自然と考え
が出ている」と学習の成果を振
り返りました。



ペンをおいて

あけましておめでとう
ございます。

今回の議会だよりは、
中学生議会、町民との意
見交換会、12月会議を掲
載し、新しい年を迎えて
の発行となりました。

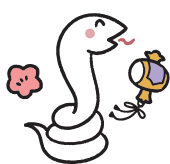
中学生の笑顔の表紙は
どうでしょうか。未来へ
の希望を感じています。

議会だよりは議会で話
し合われたこと、活動が
分かるように毎回、練り

上げて作っています。

さて、今年は巳年。皮
を脱ぎ捨てる姿から、新
しい挑戦や変化に對して
前向きな姿勢を示すと解
釈されています。そうあ
りたいです。

及川ひとみ



発行・編集責任者

議長 武田 平八

広報広聴常任委員会

委員長 鈴木 博

副委員長 佐々木純子

委員 吉田 和希

村上みさと

佐藤 光夫

橋浦 栄一

及川ひとみ



議会からお願い 議会だよりの取材のため、議員が写真撮影に伺うことがあります。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



植物油インキを使用しています



議会だより



No.212 令和7年1月22日発行